

近着石刻関係書所収元代石刻リスト 2

森田 憲司

第1号に引き続き、2003年、2004年に中国で刊行され、日本に入荷した石刻関係書のうちから、元代石刻の拓影や写真、あるいは録文を掲載するものを紹介する。この間に目睹できた石刻関係書籍は意外に少なかったが、『北京文物精粹大系・石刻巻』と、『福建宗教碑銘彙編・泉州府分冊』は、いずれも多くの資料を含み、有益な文献である。『北京』は、北京関係の石刻書であるので、関連データを付して別に本号に掲載することとし、ここでは、他の3つを紹介したい。

司馬光塋祠碑誌（文物出版社 2004）

いずれも、拓影、録文、註あり

謁司馬公墓詩（後至元4年 前至元に比定を誤る）

重刊司馬光神道碑（至正12年）

なお、散逸碑誌として

司馬光祠記（元大徳間）

司馬光塋像記（至治元年）

を、祠志などから引用。

陝西金石文献匯集 榆林碑石（三秦出版社 2003）

金のものはあるが、元の石刻は無し

福建宗教碑銘彙編・泉州府分冊（福建人民出版社 2003）

この本については、若干のコメントを附しておく必要がある。索引も含めれば、全3冊1500頁になんなんとする巨冊であり、福建における古代から民国時代までの宗教に関係する「石刻」を、地域ごとに集成し、句点を附して、排印している。すでに1995年に興化分冊が刊行されているようだが、筆者は寡聞にして、その存在を知らなかった。さて、ここで「石刻」としたのはわけがある。というのは、本書はその採録の対象を、石刻そのものや拓本、あるいは石刻書に限ってはおらず、文集、地方志、族譜などの文献からも、石刻に由来する、あるいは石刻にされたと考えられる文章（碑記の類）を収集している点である。たしかに、中国前近代に書かれた文章のうちのかなりのものは、石刻とのかかわりを持つとすることができるといふことについては、筆者も常に念頭においているし、そうした視点の必要を論じてもきた。しかし、後代の族譜などの書物に引かれた石刻あるいはその他の資料の年代については、その信頼性に関しては慎重な検討が必要であることについても、かつて言及したところである（「宋元時代における修譜」『東洋史研究』37-4 1979）。また、なるべくオリジナルに近い形で石刻資料を扱おうというのが、我々の共同研究の眼目でもあるから、ここでは、按語で現存につ

いて言及されているものに限って目録を作成することとした。なお、巻頭に若干のカラー写真が掲載されているほかは、個々の石刻についての写真、拓影などの掲載はない。各石刻の前に付した数字は本書の碑刻番号であり、石刻の名前は本書の記載に従った。また、按語を転載する。

第1分冊

泉州府城、晋江县

46 泉州書院記 年代不明

此碑立於晋江县学明倫堂、僅存上段。碑文見於《閩中金石略》卷11、《福建金石志》卷13。

49 泉州府路学大晟樂記 丙午（大徳10、至正26）

此碑立於泉州府学。碑文見於《閩中金石略》卷9、《福建金石志》卷12、《晋江县志》卷14。

51 僧官墓碑 皇慶2年

此碑於1940年從於泉州通淮城門拆出、1954年發現於通淮門外津頭埔鄉。碑文見於《泉州宗教石刻》頁46。

52 一百大寺看經記 延祐3年

此碑刻於晋江县学明倫堂明人修学碑陰。碑文見於《閩中金石略》卷11、《福建金石志》卷13。

57 石門和尚塔誌 泰定丙寅（3年）

此塔已圯、塔誌移置清源山純陽洞石牆。碑文見於《閩中金石略》卷11、《福建金石志》卷13。

58 重源清源純陽洞記 後至元4年

此碑存於清源山山頂清源洞。碑文見於《閩中金石略》卷12、《福建金石志》卷13。

59 草庵造像題刻

此文刻於草庵寺摩尼光仏石像兩側。銘文見於《泉州宗教石刻》頁44、《晋江碑刻選》頁227。

60 開元寺東塔題刻 至正9年

此刻尚存泉州開元寺東塔第二層塔心柱東北面。碑文見於《泉州東西塔》。

61 重立清浄寺碑 至正10年

此碑現存於泉州塗門街清浄寺。碑文見於《泉州宗教石刻》頁9。

62 弥陀岩功德碑 至正24年

此記刻於清源山一嘯台。碑文見於《閩中金石略》卷11、《福建金石志》卷13。

63 承天寺石鑪題識 至正丁未（27年）

此石鑪在泉州承天寺、題識刻於鑪蓋。題識見於《閩中金石略》卷12、《福建金石志》卷13。

64 碧霄岩題刻 至正27年

此記刻於清源山碧霄岩。題記見於《閩中金石略》卷12、《福建金石志》卷13。

第 2 分冊

南安県

591 雲台山石刻 至元甲午（30 年）

此記刻於官橋一片寺巖壁。

592 五塔巖題刻 至大戊申（元年）

此記刻於官橋五塔巖寺崖壁。

595 五塔巖題刻 泰定甲子（元年）

此記刻於官橋五塔巖寺崖壁。

596 重修天立巖記 至正元年

此記刻於榕橋天立巖崖石。

597 九日山石刻 至正己丑（9 年）

此刻見於九日山西峯巖壁。文見於《閩中金石略》卷 12、《福建金石志》卷 13。

安溪県

797 重修清水巖記

此碑刻於清水巖綸音壇左辺塚。碑文見於《清水巖志》。

德化県

910 柱峯巖題捐碑 至正 2 年

此碑尚存水口石柱村柱峯巖、碑名為編者加擬。

911 鼎建洞宇記 至正戊申（28 年）

此碑尚存金液洞。

第 3 分冊

同安県

962 龍山聖菓院祠堂内碑記（至正 19 年、天啓 3 年重刻）

此碑於明天啓 3 年重刻、尚存龍山聖菓院

963 葉氏買地券

此券陶製、現存廈門市博物館。

（もりた けんじ 奈良大学）